

# 1月18日のウクライナ情報

安齋育郎

## ●回避の軍隊:ウクライナ人は新たな動員からどのように逃げているか—徴集兵は海外に逃げ、カルパチア山脈に隠れます(2023年1月2日)

※安齋注:訳語が不自然な箇所だらけですが、意味は大体分かるでしょう。

ウクライナでは、男性が再び召喚状を配り始めました。軍の司令官は、輸送、市場、バー、レストランなど、最も予想外の場所で彼らを追跡します。同時に、男性は合法的に国を離れることはできません。その結果、偽造文書に賄賂を支払う人もいれば、山の国境を越えて凍った川を泳ぐ人もいます。

公式には、ウクライナでの動員の新しい波は発表されませんでした。ウクライナ軍の最高司令官ヴァレリー・ザルジニーは、12月初旬に十分な人々がいたと述べ、「さらに数十万人は必要ない」と述べた。彼によると、ウクライナ軍の戦場での成功には、新しい兵士ではなく、追加の装備が必要です。「私にはリソースが必要です。300両の戦車、600~700隻のIFV、500発の榴弾砲です。私は必要以上に少ないものを手に入れます」と彼はアメリカのジャーナリストに不平を言った。

非公式に、メディアは大統領府がさらに50,000人を募集する任務を設定したと報じた。ソーシャルネットワークでは、12月末までに、ウクライナの都市での襲撃のビデオが表示され始めました。たとえば、ハリコフでは、新年の企業パーティーがそこで祝われたときに軍のパトロールがバーにやって来ました。チェルノフツィでは、軍が都市市場に定住しました。「一日中、彼らは隊列を歩き、召喚状を発行します。まあ、彼らが配るとき、彼らはただ男の子を捕まえて彼らの車に引きずり込みます。すでに40人が捕まっています。人々が来るのを恐れているので、市場は空です」とビデオを撮影した女性は言います。

襲撃はハリコフとドニプロの市場でも行われました。オデッサでは、男性はバス停で止められました。「あなたはコーヒーを飲むために来ます、そしてそれから彼らはすでにあなたを待っています」とビデオを撮影した運転手は言います。チェルカッスイでは、3番目のグループの障害者が召喚状を受け取りました。「私はパトロールに兵役の責任がないと説明しましたが、軍の募集事務所に強制的に連れて行かれました。そこで私は障害に関する文書を見せました。法律によれば、彼らは私を動員することはできませんが、軍はすべてを気にしません」と男は言います。

状況は、ウクライナのローマン・ゴルバツハの地上部隊の人事部門の長によってコメントされました。彼によると、公共の場での召喚状は、自宅で男性が軍のコミッサールへの扉を開かないという事実のために配布されます。「それが、領土センターの長が多くの人がいる場所を選ぶ理由です」と彼は言いました。さらに、男性は移動し、居住地を変更します。「徴集兵自身が更新されたデータを提出した場合、誰も路上でそれらを捕まえることはありません」とゴルバツハは説明しました。

徴兵の新しい波は、ウクライナの男性が再び海外に到達したという事実につながりました。法律により、彼らはそれをすることができません。ロシアの軍事作戦の開始後、戒厳令が国内で導入されました、それはとりわけ、移動の自由の制限を意味します。したがって、18歳から60歳までのほとんどの男性はウクライナを離れることを禁じられています。

したがって、男性は不法に国境を越えます。1つの方法は、脱出チャンネルを設定した商人に連絡することです。この変種では、徴集兵は5~1万ドルを支払います。このお金のために、男性は彼らが去るのを助けるために文書を発行されます。これらは、徴兵からの延期証明書または兵役を免除する医学論文です。違法なチャンネルの主催者は、おなじみの国境警備隊に単に賄賂を贈ることもあります。

そのようなチャンネルは、国家機関や国境警備隊間の接続なしに確立するのが難しいことは明らかで

す。したがって、治安部隊はしばしばこの事業の役人や代理人を捕まえます。それで、12 月末のチェルニーヒウでは、市議会の代理が暴露されました。SBU によると、徴集兵は国から逃げるために 5,000 ドルを支払いました。ドラフトドジャースは地元の慈善団体のランクに登録され、特別な電子システム「Shlyakh」にデータを送信しました。市議会の副議員が遠隔地で「働いた」のは興味深いことです-2 月 24 日以降、彼はウクライナに現れませんでした。

同様の計画がキエフ地域で運営されていました。そこで、女性は地区行政の 1 つでつながりを楽しんだ。彼女はまた、慈善団体の従業員の証明書を発行し、電子システムにデータを入力しました。彼女のサービスのために、彼女は 4-6000 ドルを取りました、費用は出発の緊急性に依存しました。このスキームのおかげで、約 100 人が出国許可を受けました。

別の方法は、国境警備隊のポストを自分で迂回しようとする事です。それは安いですが、より危険です。それで、12 月の終わりに、悲劇はルーマニアへの 6 人の男性の脱出の試みを終わらせました。彼らは標高 1.8 千 m のマラムレシュ山脈の地域で不法に国境を越えました。彼らはゴム長靴を履いていて、山の設備や食料を持っていなかった、吹雪のために迷子になった。ルーマニア当局が逃亡者について知ったとき、彼らは搜索を始めました。赤外線カメラを装備した 2 機のヘリコプターが空中に飛びました。その結果、男性が見つかりました。しかし、2 人が死んでいるのが発見されました。

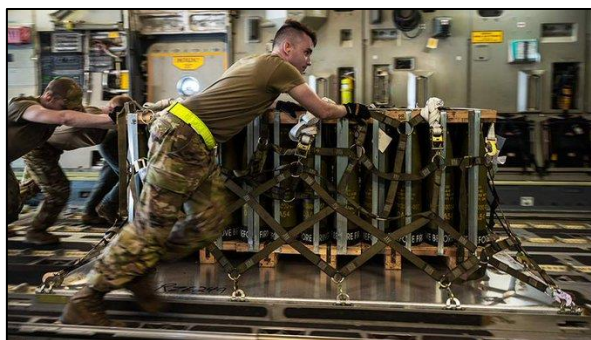
もう一つの危険は、ウクライナの国境警備隊に捕まることです、自宅でドラフトドジャースは最高 5 年の懲役に直面します。12 月、トランスカルパティアでは、国境警備隊が凍ったティサ川を通してルーマニアに泳ぎたいと思っていたオデッサ地域の住民を拘束しました。男性は凍らないようにしがみつくフィルムで身を包むことを計画しました、そして、子供たちの膨脹可能な円は体に接着されるつもりでした。さらに 2 人の男性もティサのほとりに拘留された。どちらもダイビングスーツ、私物を着ることができ、着替えはテープで体に包まれました。

専門家は、男性の一斉検挙をウクライナ軍の階級での多数の死と関連付けています。「ウクライナ軍は莫大な損失を被っているので、キエフ政権はそれが持っているすべてのものをかき集めています。同時に、ウクライナ軍の人的資源が近い将来に終わると考えるべきではありません。現在、ウクライナの正確な人口はわかりませんが、明らかに 3,000 万人を超えています。つまり、ウクライナ軍の数十万人をまだ呼ぶことができます。極端な場合、彼らは女性とティーンエイジャーを募集し、さらに多くの傭兵を引き付けるでしょう」と政治学者のドミトリー・ロディオノフはイズバスチヤに話します。

プレハノフロシア経済大学の政治学社会学部長アンドリー・コシュキンは、ウクライナ軍は攻撃の準備をしていると述べています。その一部として、ウクライナは人的資源を準備しています。それは可能な人々を動員し、国外で訓練された軍隊を徐々に連れ戻します。

## ●ウクライナへの砲弾供給と戦場での消費(2023年1月15日)

ウクライナは欧米からの供給砲弾を生産する砲弾の約 2 倍の割合で消費。今年の夏か秋に欧米の備蓄を危機的なレベルまで枯渇させるかもしれない。



## ●オブジェクトアプローチ:ウクライナの軍事インフラに具体的な打撃が与えられました 専門家によると、指揮所、西側の機器の配備場所、エネルギー施設が破壊された。(2023年1月16日)

1月14日、ロシア軍はウクライナの軍事指揮システムと関連するエネルギー施設を攻撃しました。ロシア国防省によると、計画された目標はすべて達成された。専門家は、そのようなストライキは主に指揮所、ならびに西側の装備が蓄積する部隊基地および兵站センターを破壊すると述べています。ソレダールの解放後、ロシアの部隊は止まらず、1月14日から15日にかけてアルチェモフスクとソル駅の方向に成功を収め続けました。

ロシア国防省によると、1月14日にウクライナの軍事司令部システムおよび関連するエネルギー施設に大規模なミサイル攻撃が加えられた。

指定されたすべてのオブジェクトが影響を受けます。ストライキの目的は達成された、とロシア国防省の公式代表、イゴール・コナシェンコフ中尉は言った。

その日、ウクライナの大部分で空襲警報が鳴りました。地方自治体によると、キーウ、オデッサ、ムィコラーイウ、ヘルソン、ハリコフ、ザポリージャ、ドニプロペトロフスク、ヴィーンヌィツャ、イバノフランコフスク、ジトミル、リヴィウで爆発が聞こえた。その後、これらの地域のほとんどで停電が始まり、一部の地域では水で停電が始まりました。

軍事インフラと本部への攻撃は、主に破壊された指揮所、部隊基地、兵站センター、および NATO 諸国からの武器と弾薬の供給を蓄積する軍事基地です。軍事装備が生産され集中しているオブジェクトも影響を受ける、と軍事専門家のウラジスラフ・シュリギンはイズベスチヤに語った。

「エネルギーインフラへのストライキは、数ヶ月間続いている別の作戦です」と専門家は説明しました。「その目標は、ウクライナから通常運営されている軍事産業を奪い、国家の制御可能性の全体的なしきい値を減らすことです。電気がなければ、通信も輸送も正常に機能しません。軍事輸送は遅く、軍隊の再配置や戦闘接触線への武器や弾薬の供給を妨げます。これらすべてが、国家とウクライナの武装勢力の活動を著しく複雑にし、遅くします。

1月14日と15日、ロシア軍はドネツク方向に攻撃を続けたと国防省は述べた。日曜日に、暴行部隊は、南部軍管区の陸軍航空、ミサイル部隊、砲兵の支援を受けて空挺部隊の部隊と協力して、アルチェモフスクの北郊外とソル駅の方向に成功を収めました。

「敵対行為の間、80人以上のウクライナ軍人、2台の戦車、3台の装甲戦闘車両、3台の車が日中に破壊されました」とイゴール・コナシェンコフは言いました。

前日、70人以上のウクライナ兵、1台の戦車、5台の装甲戦闘車両、4台の車両がこの地域で破壊されました。

クピャンスク方向では、西部軍管区の陸軍航空隊と砲兵によるストライキが、VFUの第14、第92機械化旅団、および第103領土防衛旅団の部隊を破った。さらに、VFUの2つの妨害および偵察グループが清算されました。2日間、約80人のウクライナ軍人、2両の戦車、3台の装甲戦闘車両、5台の車がこの方向に破壊されました。

クラスノリマンスキーの方向では、2日間、中央軍管区の編成と空挺部隊からの砲撃が、第66、第92機械化旅団、第95および第80空挺突撃旅団、およびVFUの第71イエーガー旅団の部隊を破った。敵の妨害および偵察グループも破壊されました。ウクライナのフォーメーションは元の位置に押し戻されました。2日間の彼らの損失は、165人以上の軍人、7台の戦闘装甲車両、5台のピックアップに達しました。

南ドネツク方向では、東部軍管区の砲兵と電動ライフル部隊、太平洋艦隊の海兵隊が VFU の人員の集中に火事の敗北をもたらしました。3 つの妨害および偵察グループが破壊されました。2 日間のウクライナのフォーメーションの総損失は、約 80 人の軍人、7 人のピックアップ、車、2 台の装甲戦闘車両に達しました。

作戦戦術および陸軍航空、ミサイル部隊および砲兵は 2 日間で 3 つの弾薬庫、多連装ロケットシステムの修理基地、射撃位置にある VFU の 221 砲兵ユニット、Osa-AKM 対空ミサイルシステムの発射装置および 246 の部隊集中地域を攻撃した。

対砲兵砲撃闘争中に、米国が製造した 2 つの M777 砲システム、3 つの D-20 自走榴弾砲、3 つの 2S3 アカシア自走榴弾砲、2 つの Msta-B 榴弾砲、3 つのグヴォズディカ自走榴弾砲、2 つの D-30 榴弾砲、および 2 つの米国製 AN/TPQ-36 と 1 つの AN/TPQ-50 対砲兵レーダーが破壊されました。

さらに、彼らはベルジャンシク地域の 15 の MLRS ヒマルス、ウラガン、ビルカ、ザポリージャ地域のヴァシリエフカ、ポドゴルネ、ノボミハイロフカの集落、LPR のクレメンナヤ、リシチャンシク、DPR のノヴィスヴェットの村を傍受しました。

合計で、特別軍事作戦の開始以来、372 機の航空機、200 機のヘリコプター、2882 機の無人航空機、401 機の対空ミサイルシステム、7525 両の戦車およびその他の装甲戦闘車両、982 基の多連装ロケットシステムの戦闘車両、3836 基の野戦砲と迫撃砲、および 8052 基の特殊軍用車両が破壊されたとイゴール・コナシェンコフはリストした。

### 地域の重要性の中断:ウクライナの都市での爆発の原因

ロシア軍は敵がインフラストラクチャを復元することを許可していない、と専門家は説明します

軍事インフラと本部への攻撃は、主に破壊された指揮所、部隊基地、兵站センター、および NATO 諸国からの武器と弾薬の供給を蓄積する軍事基地です。軍事装備が生産され集中しているオブジェクトも影響を受ける、と軍事専門家のウラジスラフ・シュリギンはイズベスチヤに語った。

「エネルギーインフラへのストライキは、数ヶ月間続いている別の作戦です」と専門家は説明しました。「その目標は、ウクライナから通常運営されている軍事産業を奪い、国家の制御可能性の全体的なしきい値を減らすことです。電気がなければ、通信も輸送も正常に機能しません。軍事輸送は遅く、軍隊の再配置や戦闘接触線への武器や弾薬の供給を妨げます。これらすべてが、国家とウクライナの武装勢力の活動を著しく複雑にし、遅くします。

### ソルト・オン・ファイア

「敵対行為の間、80 人以上のウクライナ軍人、2 台の戦車、3 台の装甲戦闘車両、3 台の車が日中に破壊されました」とイゴール・コナシェンコフは言いました。

前日、70 人以上のウクライナ兵、1 台の戦車、5 台の装甲戦闘車両、4 台の車両がこの地域で破壊されました。

クピャンスク方向では、西部軍管区の陸軍航空隊と砲兵によるストライキが、VFU の第 14、第 92 機械化旅団、および第 103 領土防衛旅団の部隊を破った。さらに、VFU の 2 つの妨害および偵察グループが清算されました。2 日間、約 80 人のウクライナ軍人、2 両の戦車、3 台の装甲戦闘車両、5 台の車がこの方向に破壊されました。

「都市は私たちの要素であり、ここで私たちと競争することは無意味です」

ソレダーの戦いがどのように進んだか、そして彼を解放することがどれほど困難だったか

クラスノリマンスキーの方向では、2 日間、中央軍管区の編成と空挺部隊からの砲撃が、第 66、第

92 機械化旅団、第 95 および第 80 空挺突撃旅団、および VFU の第 71 イェーガー旅団の部隊を破った。敵の妨害および偵察グループも破壊されました。ウクライナのフォーメーションは元の位置に押し戻されました。2 日間の彼らの損失は、165 人以上の軍人、7 台の戦闘装甲車両、5 台のピックアップに達しました。

南ドネツク方向では、東部軍管区の砲兵と電動ライフル部隊、太平洋艦隊の海兵隊が VFU の人員の集中に火事の敗北をもたらしました。3 つの妨害および偵察グループが破壊されました。2 日間のウクライナのフォーメーションの総損失は、約 80 人の軍人、7 人のピックアップ、車、2 台の装甲戦闘車両に達しました。

作戦戦術および陸軍航空、ミサイル部隊および砲兵は 2 日間で 3 つの弾薬庫、多連装ロケットシステムの修理基地、射撃位置にある VFU の 221 砲兵ユニット、Osa-AKM 対空ミサイルシステムの発射装置および 246 の部隊集中地域を攻撃した。

### 氷期:霜が SVO の進路にどのように影響するか

ウクライナ軍は現在、大規模な攻撃のための軍隊を持っていない、と軍事専門家は言います。

対砲兵砲撃闘争中に、米国が製造した 2 つの M777 砲システム、3 つの D-20 自走榴弾砲、3 つの 2S3 アカシア自走榴弾砲、2 つの Msta-B 榴弾砲、3 つのグヴォズディカ自走榴弾砲、2 つの D-30 榴弾砲、および 2 つの米国製 AN/TPQ-36 と 1 つの AN/TPQ-50 対砲兵レーダーが破壊されました。

さらに、彼らはベルジャンシク地域の 15 の MLRS ヒマルス、ウラガン、ビルカ、ザポリージャ地域のヴァシリエフカ、ポドゴルネ、ノボミハイロフカの集落、LPR のクレメンナヤ、リシチャンシク、DPR のノヴィスヴェットの村を傍受しました。

合計で、特別軍事作戦の開始以来、372 機の航空機、200 機のヘリコプター、2882 機の無人航空機、401 機の対空ミサイルシステム、7525 両の戦車およびその他の装甲戦闘車両、982 基の多連装ロケットシステムの戦闘車両、3836 基の野戦砲と迫撃砲、および 8052 基の特殊軍用車両が破壊されたとイゴール・コナシェンコフはリストした。

### 砲兵の精度

ロシア国防省は、戦いで勇気と献身を示した軍人について話しました。

攻撃中、コンスタンティン・トカール上級軍曹はロシアの電動ライフル兵を砲撃で支援した。彼の銃の最初の打撃はウクライナの要塞を破壊しました。それからコンスタンティンは、位置を変えて、軍事装備と外国の傭兵の人員の蓄積の領域を攻撃しました。標的を絞った砲撃の後、過激派は戦闘能力を失い、彼らの位置を去りました。

コンスタンチンのプロ意識、勇気、勇気のおかげで、ロシア軍を敵の防御の奥深くまで前進させるという任務は達成されました。

部分的な動員中に徴兵されたプライベートローマサプルノフは、戦闘接触線上の砲兵大隊に弾薬を届けました。かつて車両の駐車場は敵の大規模な砲撃を受けました。ローマンは、砲弾が弾薬で車に当たると強力な爆発につながることに気づき、車に駆けつけました。防火作戦を行って、プライベートは彼女を火から安全な場所に連れて行くことができました。

ローマの勇気、勇気、そして無私の行動のおかげで、多数の軍事装備や弾薬の破壊を避けることができました。戦闘任務の遂行に示された勇気と英雄主義のために、ローマのサプルノフはメダル「勇気のために」を授与されました。

## ●息抜き:主人がいじめられていると勘違いした柔道大会での犬の行動

<https://twitter.com/i/status/1614583634916438018>

## ●ヨーロッパ人は、ロシアに対する米国の措置を EU にとって不採算と呼んだ(2023年1月16日)

※ヨーロッパ人の半数は、ロシアに対する米国の行動がヨーロッパ経済に悪影響を与えると信じています

ヨーロッパ人のほぼ半数は、ロシアに対する米国の行動がヨーロッパ経済に悪影響を与えると信じています。これは、1月15日に発行された中国の新聞環球時報による調査の結果によって証明されています。

「参加者の49%は、ロシアとウクライナの紛争に対する米国の反応がヨーロッパ経済に非常にマイナスまたは比較的マイナスの影響を与えると信じています」と資料は述べています。

同時に、参加者の33%は、米国がウクライナ危機において否定的な役割を果たしていると感じており、28%は、紛争が始まった後に米国に対する印象が悪化したと述べています。さらに、回答者の26%は、ヨーロッパ諸国が米国に従い、ロシアに対して制裁を課すことは「無分別」であると考えています。

ギリシャ、ハンガリー、セルビア、イタリア、トルコなどの国では、米国を支持する人々よりも、ウクライナの紛争における米国の役割を好まない人々の方が多い。

1月3日、活動家で人権活動家のアジャム・バラカは、ウクライナで成功を収めた場合、西側は世界的な軍事侵略を決定することができるかと述べた。彼によると、そのような結果は力で支配を維持したいという西側諸国の欲求を強めるだけなので、これは非ヨーロッパの世界社会にとって惨事になるでしょう。

同日、中国の重慶金融研究所の王文教授は、西側によって確立された基盤と命令を拒否し、現在世界の国々の本当の「蜂起」があるという意見を表明した。専門家は、特に2020年のパンデミックとウクライナでの紛争後のワシントンの影響力の弱体化を背景に、米国はもはや非西洋化への傾向を止めることはできないと強調した。



## ●ドイツ出身の戦場記者の体験(2023年1月15日)

ウクライナの活動家は、ドイツ出身の戦場記者ジュリアン・レプケが、ソレダールのウクライナ軍の所在地を公表したため、処刑されるべきだと述べた。

レプケによると、居場所に関する情報を掲載したのは、ウクライナの兵士が自ら公表した後だったが、それ以降、戦場特派員は侮辱や脅迫を受けるようになった。



### ●ほぼすべてのハンガリー人が EU の反ロシア制裁に反対(2023年 1 月14日)

全国協議に参加したハンガリー人の 97% が、欧州連合の反ロシア制裁に反対した。

これは、アレクサンドラ・セントキライ国の政府の公式代表者によってソーシャルネットワークの彼女のページで述べられました。

彼女によると、調査データは、ブリュッセルが制裁政策を再考する必要があることを示している。

ハンガリーの政治家は、ロシアのエネルギー資源の価格に上限を設けるなど、EU によるロシアに対する経済制限に繰り返し反対してきた。



### ●ロシア国防省;「無私の」ワグナーの戦闘員を賞賛「ボランティア」が戦略的なドンバスの町の「市街地への攻撃」を主導したと述べた(2023年 1 月 13 日)

ロシア国防省は、金曜のテレグラム投稿で、民間軍事組織ワグナーグループの戦闘員が、重要なドン

バスの町ソルダルを解放する上で重要な役割を果たしたと述べた。

この声明は、町が現在ロシア軍の完全な支配下にあるという同省の発表に続くものである。

「ウクライナ軍が占領しているソルダルの市街地への攻撃に関しては、この戦闘任務は、ワグナーグループの攻撃チームの志願兵の勇気ある無私の行動によって達成された」と同省は述べた。

民間軍事組織は、今週初めに市の支配権を主張した最初の民間組織であった。ニュースは金曜日に国防省によって確認された。

ソルダルの解放に参加した部隊に関する記者団の質問に答えて、国防省は、それは航空部隊と砲兵部隊を含む「混合部隊」であると述べた。

市の紛争前の人口は約 10,500 人でした。それはロシアのドネツク人民共和国（DPR）の一部だが、キーウでのマイダンのクーデターに続いて DPR が国から離脱した 2014 年以来、ウクライナ軍によって保持されていた。

DPR は、2022 年 9 月に国民投票を行った後、ロシアの一部になった。

ロシア軍による町の占領は、双方が何ヶ月も続いている近くの都市バフムート（アルチョモフスク）をめぐる激しい戦闘に巻き込まれているときに起こる。

ウクライナ軍にとって重要な供給拠点であるこの都市は、ロシア軍がスラビャンスクやセヴェルスクなどの他のウクライナ支配都市への経路を開く可能性がある。



## ●ロンドンのロシア大使館、キーウが化学攻撃を開始する準備をしていると警告（2013年1月13日）

ウクライナ軍はロシア軍に対する化学兵器攻撃を開始する準備をしていると、英国のロシア大使館は警告した。

モスクワの外交代表は、Twitter アカウントを通じて、3 人のウクライナ兵が化学兵器と疑われるものを準備しているのが観察されるビデオを公開した。

「ウクライナ軍が公開したビデオは、ロシアの民兵に対する、国連化学兵器禁止条約で禁止されている化学兵器、おそらくホスゲンの使用の準備を明らかに示している」と大使館に警告している。

共有資料では、化学物質を持っていると思われるドローンとシリンダーが観察される。

在英ロシア大使館の説明によると、シリンダーの中には「有毒な弾薬」であることを警告するために正確に「OB」の文字が入っているものもあるとのこと。



「これは、ガスボンベを冷蔵庫に保管する必要がある理由も説明している」とロシアの外交代表は付け加える。

ロシアの化学兵器禁止機構（OPCW）常任代表アレクサンドル シュルギンは、昨年 12 月以来、クレムリンは、ウクライナが軍に対する「化学的挑発」を準備するのを支援してきた米国の請負業者に関する情報を持っていると主張した。

昨年 8 月、ロシア国防省は化学兵器禁止機構(OPCW)に対し、キエフが兵士に対して化学兵器を使用した証拠を提出した。

特に、彼らは、数人のロシア兵がボツリヌス毒素 B 型中毒で入院したことを詳述した。



## ●ウクライナとは関係ないが、興味深いデータ(2023 年 1 月 14 日)

※安齋注:「世界一学ばない国」日本? そうかなあ? でも、ダントツですね。

